

The Shinro Journal とは・・・松江東高校進路指導部が発刊する情報紙です。
主に進路に関する情報提供や、各種行事や講座の案内・報告を行っていきます。

総体が終わりました！！



総体に参加した選手の皆さん、お疲れ様でした。特に3年生、目標に届いた人、及ばなかった人色々思いはあると思いますが、ここで得られた経験は一生の宝となるはずです。そしてこれからは、いよいよ受験モード、自分の目指す将来像に向け、がんばっていきましょう。そして、1,2年生もこれまでとは違った動きが始まります。今回は「切り替え」をテーマに書いてみました。それではまず、校長先生から皆さんへのメッセージを紹介します。

未来の自分が納得する進路実現に向けて (校長 山崎 誠)

特別支援教育は、「障がいのある生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを(教職員が)支援するという視点に立ち、(生徒)一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め・・・」とされています。

これを進路指導になぞらえて考えると、「就職・進学のための受験を通して自立した大人となるよう、(教職員が生徒の)自己実現に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、一人一人の進路希望や現状を把握し、その持てる力(学力・社会力・人間力)を高めるため、適切な指導及び必要な支援を最大限おこなっていく」となるのでしょうか。指導・支援の前提となるのが、自己実現に向けた主体的な取り組みを生徒一人一人がしっかりと行っているかどうか、あるいは自己実現に向けた明確な意志(志)があるかどうかです。

“新卒者だけが持つプラチナチケット”という話を聞く機会がありました。「就職に際して、会社は新卒枠を設けて採用しているケースが多い。高校や大学などを卒業する新卒者を対象に求人を出してくるということ。新卒者に対する求人は多いが、転職の場合は同じ状況とはならない。高校3年生の有効求人倍率が昨年度約4.3倍[高校生1人に対して4.3社が求人]に対し、一般の有効求人倍率は現在約1.6倍。高卒で入社すれば40年以上勤めることになるが、残念ながら早期に離職するケースが少なからずある。離職すれば新卒での就職というプラチナチケットはない状況での就職活動となる。自分なりに就職することや社会人になることへの覚悟や心構えがあるかどうか、就職希望者にはしっかりと考えてもらいたい。新卒者だけが持つプラチナチケットは生涯で1回しか使えない。そのプラチナチケットを、高卒段階で使うのか、上級学校進学後に使うのか今一度しっかりと考えてもらいたい・・・。」そんな内容でした。

もちろん、プラチナチケットがあるからと言って、努力もせず自分の望む会社に入れるわけではありません。シード権があると言った方が合っているかもしれません。ちなみに、公務員試験な

どは、新卒枠を設けているケースがほぼありません。それだけ狭き門となります。

大学受験などはまた違います。新卒での就職のようにプラチナチケットが最初からあるわけではなく、入学試験で勝ち抜いて入学のためのチケットを手に入れられないといけません。難関大学とよばれるような大学への入学チケットは、相当な努力をしないと手に入れることができないのが通常です。

進路を考える上で大事なこと、つまり進路(学校)選択の際に、なにを優先順位として高く持つかということがあります。そのことが、自己実現に向けた主体的な取り組みや明確な意志(志)につながるということがあります。

- ・何を学びたいか、何を研究したいかで選ぶのか。
- ・就きたい職業を意識して、どの学部・学科がよいか、どんな資格が必要かで選ぶのか。
- ・どの地域に行きたい、例えば都会に行きたい気持ちを優先させるのか。
- ・誰でも知っているような有名な大学かどうかで選ぶのか。
- ・学費の面から奨学金制度の充実度や自宅通学できるかどうかで選ぶのか。
- ・今の学力で入学できるところにするのか、学力を高めて入学したいところにするのか。
- ・学問以外にやりたいこと(サークル活動、一人暮らしなど)を優先するのか。

考えることはいろいろありますが、いずれにせよ、自己実現に向けた主体的な取り組みにつながる進路選択をしてもらいたいと思っています。これから努力した先の未来の自分がする選択を、今の自分がすることによってこれからの努力につなげてもらいたいと思います。



7月進研まで、あと一ヶ月あまり

早速、3年生は今週末に進研マーク模試が控えていますが、7月中旬には、全学年7月進研が控えています。これも全国で40万人以上が受験する大規模なものです。

まず「**全国偏差値**」(以下**SS**)の話から。2,3年生はもう十分分かっているとは思いますが、一応おさらいしておきましょう。SSとは、全国平均点=50となります。集団の真ん中にいるということです。SS60というと中の上、SS70は最上位層といったところでしょう。逆に、SS40、30は、これと逆の意味になるわけです。まとめると、

- SS70～ 難関大学 (東京大、医学部など)
- SS60～ ブロック大学 (広島大など)
- SS50～ 地方大学 (島根大など)

裏面左の表は「合格ライン2023」からの抜粋です。表の数字は、1,2年は3教科総合、3年は5教科総合のSSです。

例えば、島根大学/法文学部/法経学科に、この春合格した人は、高校1年の7月進研で、平均55のSSがあったということです。やはり、島根大、島根県立大に合格するためには50以上は必要ということです。

ここで紹介した数字を参考に、勉強に励んでください。大切なのは、自分のSSに志望校をあわせることではなく、目標とする志望校のSSを確認し、それを目指していくことです。特に2年生は、今回から「志望校判定」が行われます。ただ何となく知っている大学名を書きなべても、何の意味もありません。自分の将来を考え、事前に志望校についてよく調べ、理解を深めておきましょう。

7月進研 合格者平均SS

《 島根大学 》

学部	学科	1年	2年	3年
法文	法経	55	59	55
	社会文化	54	58	58
	言語文化	54	58	56
教育	学校教育Ⅰ	53	57	53
	保健体育	51	54	47
人間科学	人間科学	56	59	55
医	医	67	68	68
	看護	54	52	54
総合理工	物理・マテリアル工学	50	49	47
	物質化学	55	51	48
	地球科学	51	50	49
	数理科学	56	54	52
	知能情報デザイン	53	54	50
	機械・電気電子	53	50	49
	建築デザイン	59	58	55
材料エネルギー	材料エネルギー	52	50	47
生物資源科学	農林生産	50	49	49
	生命科学	53	52	50
	環境共生科学	53	51	49

《 島根県立大学 》

学部	学科	1年	2年	3年	備考
地域政策	地域公共	51	53	51	浜田
	地域経済経営	50	53	48	
	地域づくり	50	52	50	
国際関係	国際コミュニケーション	48	50	48	松江
	国際関係	50	51	46	
人間文化	保育教育	51	53	49	松江
	地域文化	50	53	49	
看護栄養	看護	49	47	48	出雲
	健康栄養	51	51	51	

1. 2年生 土曜講座が始まります！ 第1回は7/8(土)

PTAからの要請で例年実施しておりますが、今年度も1, 2年生を対象にして、次のように土曜講座を行います。休日での実施ですので、保護者の皆様にはいろいろとお世話になります。ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 目的
基本的学習内容の定着及び発展的内容による応用力の養成を図り、学習意欲の一層の向上につなげる。
- 実施期日
① 7/8(土) ② 9/9(土) ③ 10/28(土) ④ 1/13(土) ⑤ 2/3(土)
計5回の予定
- 時程
朝礼 8:30
1年 60分授業を3コマ 12:00終了
2年 90分授業を2コマ 11:55終了
- 内容(時間割はその都度示します)
1年生: 国語・英語・数学 各4回・スタサポ2回
2年生: 国語・英語・数学(理系については2学期から理科も入ってきます。)

3年生 前期講座が始まりました！

6月6日(火)～7月21日(金) 計16回

- 目的
県総体終了後、進路実現に向けた学習に取りかかる切り替えを促し、学力の向上を図る。
- 実施期日
① 6/6(火) ② 6/7(水) ③ 6/8(木) ④ 6/12(月)
⑤ 6/15(木) ⑥ 6/16(金) ⑦ 6/19(月) ⑧ 6/20(火)
⑨ 7/6(木) ⑩ 7/7(金) ⑪ 7/11(火) ⑫ 7/12(水)
⑬ 7/13(木) ⑭ 7/18(火) ⑮ 7/20(木) ⑯ 7/21(金)
- 時程
7限の日: 16:40～17:30, 6限の日: 15:40～16:30 (いずれも50分間)
- 内容
(文系) 英語・数学・国語・公務員
(理系) 英語・数学・化学・物理/生物
※受講を希望しない生徒は自習をする。

